

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

だましたヤコブ



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: M. Maillot; Lazarus

かいさくしゃ
改作者: M. Kerr; Sarah S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
また きよか
又はプリントは、許可されています。





かみ

神さまは、もうみな
さんのおうちに、

あか

かわいい赤ちゃんを
とどけてくださいま
したか？それって、
ほんとうにうれしい
ですね。



きっとイサクとリベカは、

に ぼい

みんなの**二倍**もうれしかつ
たにちがいありません。

どうしてって、

かみ

ふたり

神さまは、二人に

ふたご

双子をくださったの

ですからね。



ふたご あか

双子の赤ちゃんは、
リベカのおなか

なか

の中で大あばれ。

いの

リベカがお祈
りしていると、

かみ

神さまが、

い

こう言われました。

ふたり おとこ こ

「リベカ、二人の男の子は、

くに

二つの国をつくるだろう。



おとうと ほう

そして 弟の方が、

あに たいせつ

兄よりもっと大切に

にされるようになる

だろう。」

でも、ふつうは、

あに

たいてい兄のほ

たいせつ

うが、大切にされた

のですけれどね。さあ、

あか

ついに赤ちゃんたちが、

う

生まれましたよ。



ふたご
どういうわけか、その**双子**たちは、あまり
に
似ていませんでした。兄のエサウは、
あに
けぶか おお
とても**毛深**くて、**大き**くなるにつれて、
かり じょうず
狩がたいそう**上手**になりました。



おとうと

ひ

いえ しごと

弟 ヤコブは、すべすべの皮ふで、家の仕事を

てっだ

だいす

手伝うのが、大好きでした。お父さんイサク

あに

ほう

あい

は、兄エサウの方を愛しました。また、お

かあ

ほう

す

母さんは、ヤコブの方が、好きでした。



ひ
ある日のこと、エサウは、おなかがすいてたまりませ
んでした。「何か、^{なに}食^たべるものを
くれないか？」
エサウは、ヤコ
^いブに言いました。

^{にい}「それじゃ兄さん、
^{わたし}私^{ちょうなん}に長男のけんり
をくださいよ。」
^いヤコブは、つよく言
いました。



ちょうなん かみ
そのときエサウは、長男にくださった神さまのやくそ

き
くなど、気にもしませんでした。

「いいよ、そうしよう。」

エサウは、

い
ヤコブにそう言っ
てしまったのです。

ふたり
こうなると、二人のお
とう な とき
父さんが亡くなった時
には、ヤコブがかぞくの

ちょう

長となるのでしょね。



よ かみ はな
ある夜、神さまはイサクに話しかけられました。

「イサク、わたし私ちちはあなたの父アブラハムの神かみである。私わたしは、いつもあなたといっしょにいよう！」



そして、あなたのしそんをずっと
しゅくふく

祝 福かみしつづけよう！」イサクは、
おも さんび

いつも神さまのことを思い、賛美し
ていました。



むすこ

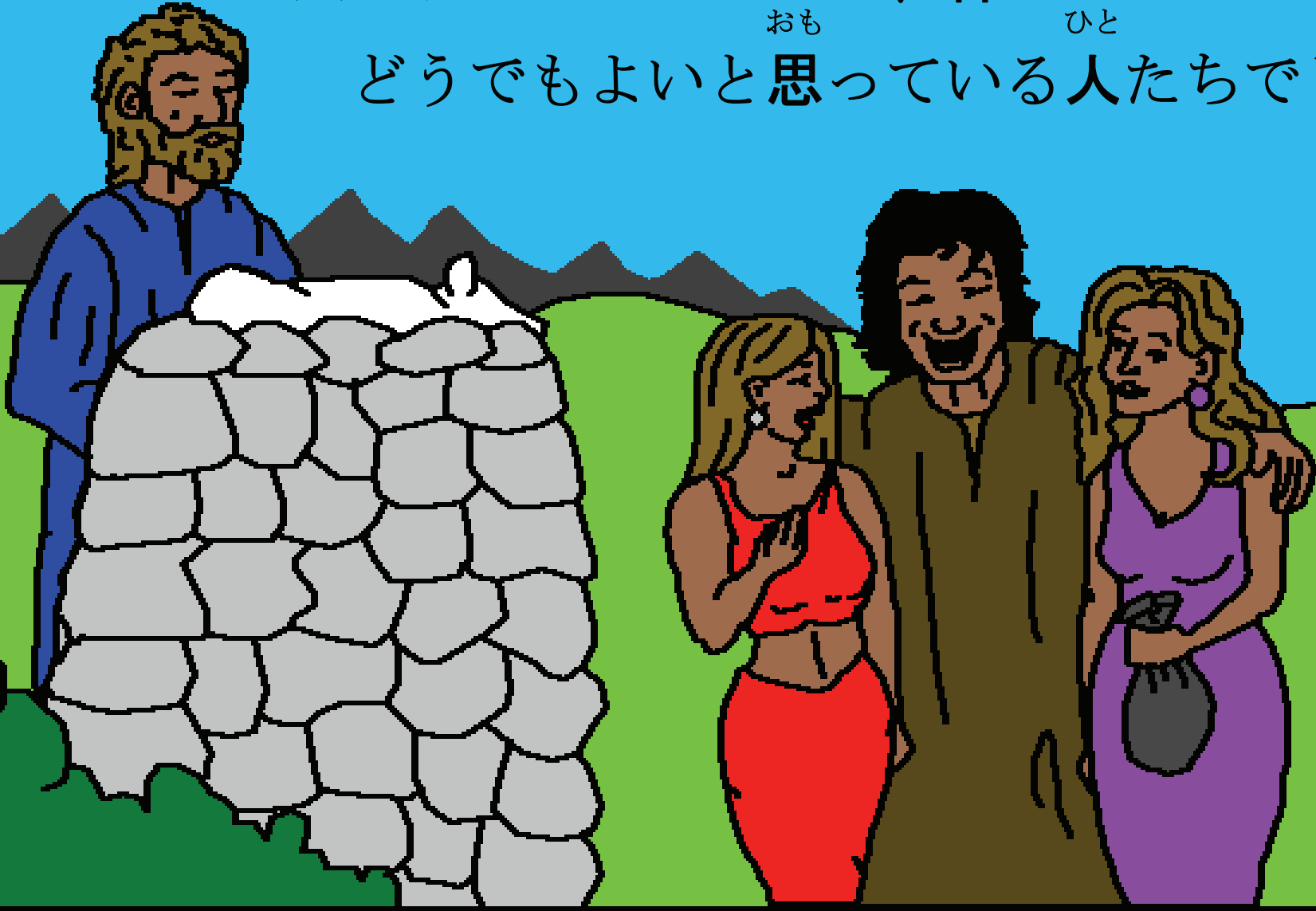
けっこん

ふたり

でもね、イサクの息子エサウが結婚した 二人のへト

人のおよめさんたちは、神さまのことなど、

どうでもよいと思っている人たちでした。





イサクは、

^{とし}
だんだん年をとってきました。

^{わたし} ^{にく}
「どうか、私にしんせんな肉を、
^た
食べさせておくれ。」

^い
イサクはエサウに言いました。

「そのあとで、

^{わたし}
私はおまえを
^{しゅくふく}
祝福しよう。」





このとくべつな祝福しゅくふくは、お父とうさんちやうなんから長男おくに送られるものでした。
さあ、エサウは大急おおいそぎ。さっそく狩かりに
でかけました。ところが、リベカは、
これをき聞いてしまったのでした。
リベカは、ヤコブが
祝福しゅくふくをうけてほし
いおもとおもっていま
した。



ひと けいかく

リベカは、一つの計画を思いつきましたよ。リベカは

いそ だいす りょうり つく

急いでイサクの大好きな料理を作りました。

そのあいだにヤコブはエサウの

ふく き けぶか

服を着て、毛深いどうぶつの

かわ くび て

皮をかれの首や手に、まきつ

め

けました。イサクは、目が

み

よく見えません。これで、

たぶんリベカとヤコブは、

イサクをだませる

でしょうね。



りょうり

ヤコブは、料理をイサクのところへはこびましたよ。

「おまえは、ヤコブのようだね。」

イサクは、こう言^いってから、

「あれっ、でもおまえの手は^て

毛^げぶかくて、まるでエサ
ウのようだ。」



い
と言いました。

しょくじ

食事が終わってから、

イサクは、

じぶん まえ

自分の前でひざまずいてい

しゅくふく

るむすこヤコブを祝 福

しました。



で い
ヤコブがイサクのところを出て行ってからすぐ、
エサウがやってきました。

とう
「お父さん、さあ、
た
食べてください。

とう だいす
お父さんの大好き
しょくじ つく
な食事を作りま
したよ。」



そこで、イサクは、ヤコブにだまされたことにき気が
つきました。「ああ！

なんていうことだ。わたし私は、
しゅくふくいちど祝 福したものを、
かえることはできな
いんだよ。」



な
イサクは、こう泣きさげびました。

こころ

エサウの心は、もうヤ
コブへのにくしみでいっ
ぱいです。ヤコブを

ころ

殺してしまおうと
きめました。



ころ

リベカは、エサウがヤコブを殺

き

すつもりだって聞きつけました。

いそ

で

「ヤコブ、大急ぎでここを出て、

いえ

おじさんの家に行くんだよ。

にい

兄さんのエサウが、...



わす

...あなたのしたことを忘れてしまうまで、

もど

戻ってはいけないよ。」と、

い

リベカはこのように言いました。

イサクは、ヤコブがかれのお

かあ

う

母さんの生まれたところ

い

に行つて、...



よめ

おも

...お嫁さんをさがせばいいと思ひさんせ
いしてくれました。さあ、

いそ

ヤコブは、急いでうちを

でい

出て行きましたよ。

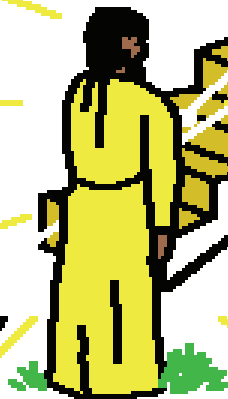


よる
その夜のことで。

いし
ヤコブは、石をまくら

やす

にして休むことに
しました。ヤコブは、
たぶんさびしかっ
たでしょうね。
こわかったで
しょうね。



でもね、ヤコブ

ひとり

は一人じゃなか

ったのですよ。

かみ

だって、神さまが、

なか

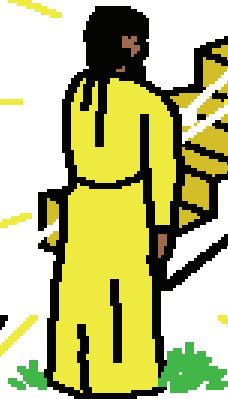
ゆめの中でヤコブ

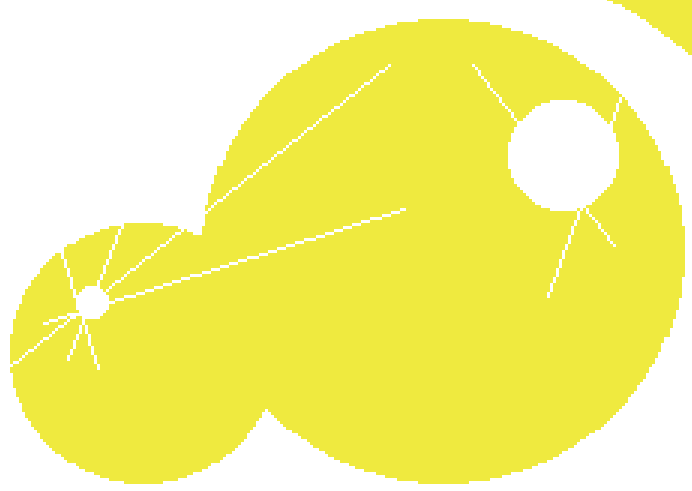
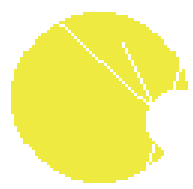
はなし

とお話してく

ださったの

ですから。





わたし

ちち

「私は、あなたの父アブラハム、

かみ

わたし

そしてイサクの神である。私は、


わたし

あなたとともにいる。私は、

ち

あなたにこの地をあたえよう！





あなたによって、

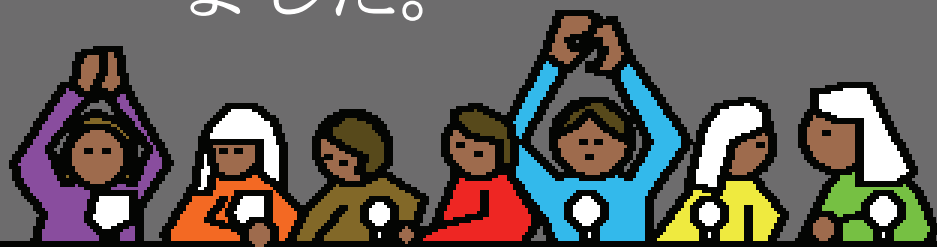
ちこの**地**のすべての人々はみんな**祝** **福**されるであろ

う！」**神**さまが、このように**話**されたあと、

めヤコブは、**目**がさめました。ヤコブは、
なんだかおそろしくなっていましたよ。



ヤコブのおじさんラバンは、ヤコブをよろこ
むか
んで迎えてくれましたよ。そこ
でヤコブは、いところラケルに
であ す
出会い、すぐに好きになり
ました。



けっこん

ラケルと結婚させて

おも

もらおうと思った、...



じょ とう
... ヤコブは、かの女のお父さんラバ

しちねん
ンのところで七年ものあいだ、
いっしょうけんめいはたらき
けっこんしき
ました。ところが、結婚式

よる
の夜、ラバンはヤコ
ブをだましたのでした。



「なんてひどい！ラケルじゃなくて、
レアではありませんか。」ヤコブは、

^い
おこってわたし言いました。「あなたは、

私をだましたのですね。」



いち うえ

「いやいや、ここではね、一ばん上のむすめが、
けっこん
はじめに結婚せにやならんのだよ。



こた

しちねん

ラバンは、こう答えました。まあね、あと七年はたら

けっこん

いてくれるのなら、ラケルともすぐに結婚できるよ。」

そこで、ヤコブはそうすることにし

ました。



たぶん、このときヤコブは思い出したでしょう。

まえに、父^{ちち}イサクと兄^{あに}エサウをだ
ましたことをね。



いつのまにか、ヤコブは、もう

にん むすこ

11人もの息子たちがいました。

とし

年がすぎてゆくにつれ、

じぶん

ヤコブは自分のかぞくをつれて、

かえ

カナンへ帰りたくてたまらなくなりました。



とう

かあ

ヤコブのお父さんやお母さん
がそこにいるのです。でも、

ころ

ヤコブを殺すとちかっ

あに

ていた兄エサウもね。



かえ

帰ってもだいじょうぶかな？

ひ かみ

ある日、神さまは、

い

ヤコブに言われました。

かえ

「帰りなさい。」



そこで、ヤコブはすぐに、

じぶん

自分のかぞくやヒツジや

ヤギのむれをあつめ、

いえ

なつかしい家にむか

しゅっぱつ

って出 発しました。



たび

それは、なんておおぜいの旅だ
ったことでしょう。そこへ、

よんひゃくにん ひと

なんと四百人もの人た
ちをつれたエサウがヤ

あ

コブに会いにやっ
てきましたよ。



けれどもエサウは、
ヤコブをやっつけるために
きたのではありません。
エサウは、ヤコブのそこ
ろに走りしっかりと抱
きしめたのです。



いまや、ヤコブとエサウは、
すっきりなかよしの兄弟
でした。こうして、
とうとうヤコブは、
ぶじに家までもど
れたのでした。



だましたヤコブ

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 25 章 - 33 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

